



6月24日(土)、7月29日(土)に約4年ぶりの『在職者交流会』を開催いたしました。本来であれば、約100名が一同に会し、ボウリングや食事を楽しみたいところではありますが、コロナが2類から5類に変更になったとはいえ、感染者が増加している状況を踏まえ、今回は交流会を2回に分け(人数制限)、ボウリングのみを楽しみました。

6月24日(土)は33名、7月29日(土)は15名の参加で、両日ともに熱気と笑顔が溢れ、非常に濃い充実した約2時間となったことを大変嬉しく思います。中にはこの日のためにボウリングの練習をして来られた方もいて、各グループ白熱した戦いや盛り上がりを見せていました。

お互い初めましての方や久しぶりに会う方が多く、各々あいさつをしたり、近況を話し合ったりしました。「最近仕事が忙しくて…」「全く注意を受けていません」「順調です」といった声が多く安心しました。1回目、2回目それぞれ参加してくださった方々に簡単なコメントをいただきましたので紹介したいと思います。

参加された方の声

Kさん 久しぶりの交流会なのでとても楽しみにしていました。良い成績が出るようにボウリングの練習をしましたが、結果は散々でした。悔

しいです。次回は良い結果が出るようにしたいです。また来週から仕事頑張ります。

Tさん 普段あまりボウリングをやらないので難しいです。知らない人たちと同じグループなので緊張もしています。最後まで頑張ります。

Aさん 初めて参加しました。私ははぐるまの家とは違うところで訓練を受け、就業生活支援センターの方のサポートがあり就職しました。周りは知らない人ばかりで緊張しますが、まずはボウリングを楽しみたいと思います。会社では困ったことはありませんが、これから困った時はすぐに会社の方や支援センターの方に相談していきたいと思っています。

Mさん コロナの影響であまり外出できませんでしたが、こうやって参加してみると、緊張もしますが、みんなと一緒に過ごすのは楽しいなと感じています。ボウリングは苦手ですが、話ができて良かったです。

Fさん 別のグループの集まりもあり、普段からボウリングはやっていきます。今日はまずまずです。会社では特に困ったことはなく順調に働いていると思います。

Mさん ○○支援員に会えず残念です。体調はあまり思わしくありませんが、次回の交流会に参加できるように働き続けたいと思います。

その他にも沢山のコメントをいただきましたが、緊急を要するSOS

在職者交流会を4年ぶりに開催しました



や相談はなく、一人ひとりが仕事に精一杯の力を出していること、そして仕事以外でも充実した生活を送れていることを確認できました。

令和5年度の在職者交流会は今回で終了となりますが、次年度も実施できるように考えています。今回は日程や仕事の都合で参加できなかった方もたくさんおられます。ぜひ次の在職者交流会にはご参加ください。以前のように、参加人数を増やし、食事でもできるような企画を考えたいと思っています。

「アドバイザー事業」の紹介

日頃より様々な取り組みを行っている加古川障害者就業・生活支援センターですが、その一つに障害者就業支援アドバイザー事業を年6回実施しています。

就業支援の担当者が困難事例(特に精神障害、発達障害)にも適切に支援していくため、専門的知見を有する方をアドバイザーとしてお招きし、様々な角度からの助言をいただいています。毎回テーマは異なりませんが、日頃の支援の中で抱えているケースを相談し、専門的なアドバイスをいただき、明日からの支援へと繋げていきます。また支援者自身、一般職業適性検査(GATB)を実施し、客観的な視点から自分の特徴を理解し、日頃の仕事や支援に活かす

という内容もあります。

難しい話だけではなく、意見交換の時間も設けられており、即実行できる内容が盛りだくさんで大変有意義な時間となっています。

このような時間を通して、支援者としてのスキルアップを目指していきます。



加古川障害者就業・生活支援センターの今後の予定

今年度中、「就労支援研修会」「企業担当者向け相談会」「ピア活動」などを予定しています。詳細が決まり次第、対象となるみなさんに案内を送付させていただきます。